近代詩文書最優秀作品　（3月15日締切分）

江幡太瓏先生選評

原田皇麗　推選
動き素晴らしく浮沈、太細もお見事です。とにかく若若しい！「た」「な」の二画目は角度、太さを変えたかった気もします。何と言っても線の強さが光ります。

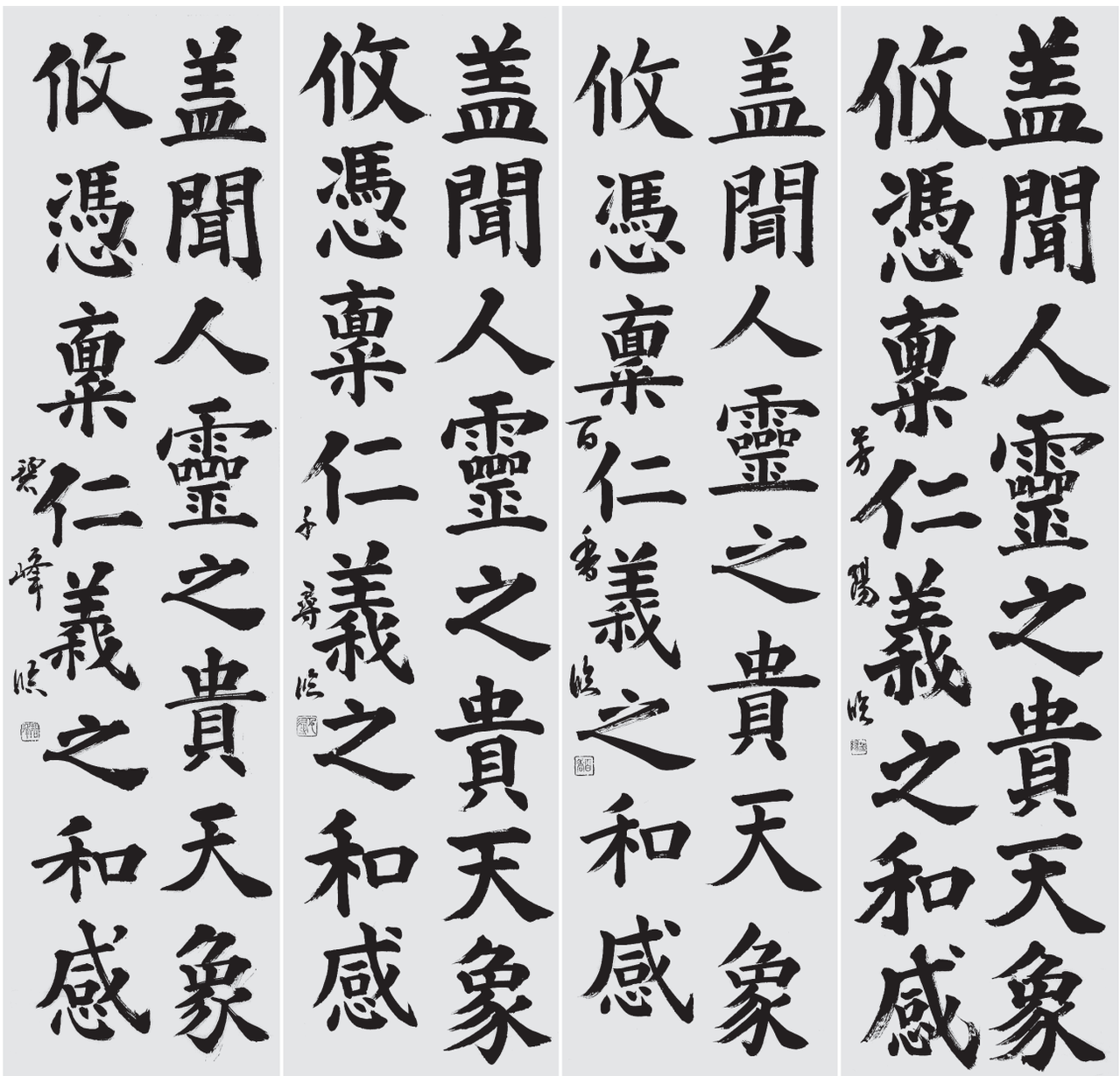
三宅春華　推選
「る」どうしたのか悩んで批評に時間がかかった。後から書いたのか始めから「椿」の偏旁に入れたのか？いずれにしても「おとしたる」素晴らしい線だ。奇想天外の作。

金子芳彩　推選
前者二人と比べるとやや墨量少ないが、章法を心得ておりリズムが素晴らしい！「鶯」の「ク」「笠」の最終画右へ伸ばしてあるのでその間に俳人名はどうでしょうか？

東靖宏　推選
貴方も動き大きく若々しい作品です。墨をつけたら軽く速めに。少なくなったらゆっくり筆圧をかけて。「た」の空間光ります。今後益々の活躍期待大です。

漢　字　条　幅　最　優　秀　作　品　　（3月15日締切分）

葛西玄涛先生選評



鈴木芳陽　推選　どっしりとした重さを持った線が紙面に拡がり、作者の主張を感じる。横画の始筆と終筆の圧力を強めに統一しても澄んだ美しい線がたくさんあり、心地が良い。

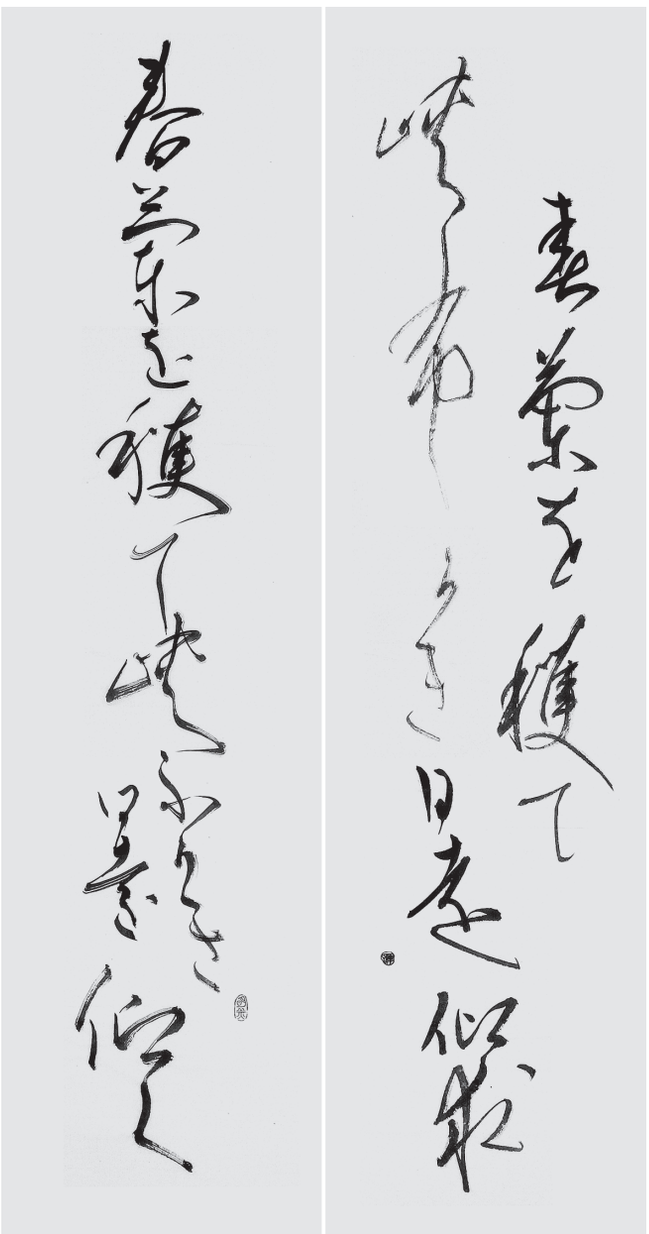
大竹百香　推選　全ての線が爽快であり、字内空間、紙面の余白が適度にある。この品格の高さは、鷗亭先生の参考作品と共通で、大切に学習されているようです。嬉しくなります。

上中千尋　推選　原本の観察をよくして、始筆の角度と強さを表現しています。線質は孟法師碑に近く、まろやかでいて強さを秘めている感じです。落筆の弾力と直筆による効果。

藤井碧峰　推選　腕が大きく動くように無駄な力を抜いて、大らかに伸び伸びと書かれています。硬い筆の強い反発力を生かして、柔らかい線を作り出す高い技術を持たれている。

かな条幅・かな半紙最優秀作品　（3月15日締切分）

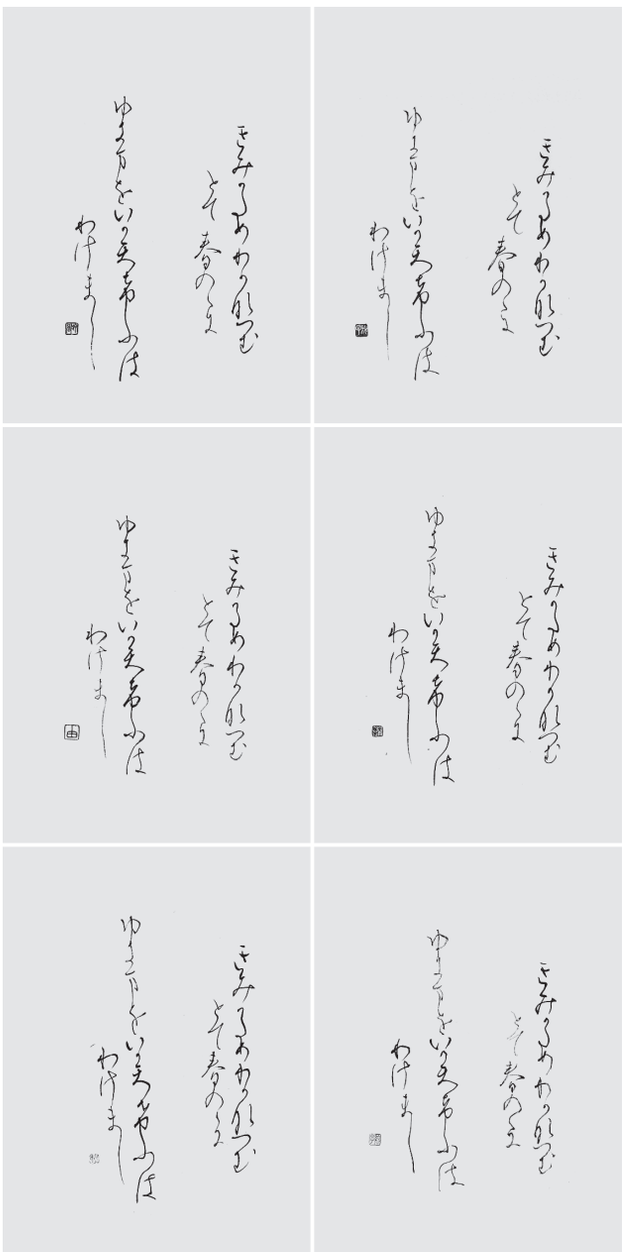
佐賀道子先生選評



鈴木暉月　推選
待ちかねた春の訪れを喜ぶ心が伝わってくる気負いのない温かな旋律が魅力的。渇筆の文字の揺らぎ合い大胆でいてしなやか。キュッと引き締めた終句と相俟って見事な作。

平川明美　推選
筆者の息遣いが伝わって来る景の浮かぶ構成が魅力の作。筆の開閉、文字の大小、振幅の変化も自然で爽やかで明るいリズム佳。二行の重なり箇所に潤渇の変化があればと惜しまれる。

吉澤真理先生選評



宮内悦子　師範
原帖の特徴を捉えての線の厚みをよく表現されています。気負いのない柔軟な筆遣い、呼吸の深い自然体が心地良い。

関村吟香　準八
紙面の捉え方が大きく堂々とした筆運びに存在感があります。更なる渇筆を取り込む事で一段と表情豊かな作となります。

逵美峰　師範
明るく張りのある凛とした書線で書き進みました。リズムに乗った引き締まった筆致。堂堂と落ち着きのある安定した作です。

中村由美子　六段
柔らかく優しい線条で温もりを感じる丁寧な作。一行目に圧が加味されると奥行きが増し更に魅力的に。雅印はやや小ぶりに。

太田純子　準師
穂先の開閉よく、筆圧にメリハリの効いた立体感ある作です。粘りのある筆線での潤渇の変化趣深い。

中野八重子　五段
伸びやかで澄んだ書線が躍動感に溢れています。緩急のリズム良く、迷いのない運筆で作品に冴えがあります。

漢字半紙最優秀作品　（3月15日締切分）

藤田壽樹先生選評

山村遊琴　師範　落款も含めて一点一画が大変丁寧で、払いやはねの隅々まで清々しく意が行き届いている。余白も至極美しく紙面が明るく広々と見え素晴らしい。

稲邉摩利子　六段　点画の全てが気力充分の会心の作となっている。紙面に大きく展開しながらも騒がしい所がなく絶妙。丁寧に書かれた落款にも心が惹かれる。

鈴木暉月　師範　大字二文字と小書きのバランスが見事。柔毛筆を駆使した量感のある線が抜群に素晴らしく完成度が高い。落款は小書き部分よりやや小さくしてはどうか。

村野亜古　準五　活発な抑揚のある筆遣いの中にも抑制が程良く働き安心して見ていられる。小書きも端正な筆致で品格があり、清廉な感じと相俟って好感が持てる。

塚田春陽　準師　じっくりと運筆した線は充実した趣でしっかりと紙面を捉え見事です。やや小振りながら凛とした感じは熟達の落款と合わせて、ピタッと決まっている。

國枝治男　三段　細身の線ながらキリリとした雰囲気を醸して意気揚々だ。澄んで明るく美しい書きぶりに高尚な心象が窺える。二文字の中心がずれたのは残念。

門田玉美　準師　縦画がやや左に傾く傾向があるが、じっくりと運筆した線は沈潜して充実感に溢れており魅力がある。その木訥な表情が味わい深さを表出して佳。

河上淑江　一級　安定感のある懐の広い書きぶりで全体が良く響き合っている。気負いのない大らかな自然体が魅力。全体をやや右に寄せて収めると更に良かった。

所　佳子　準七　線の太さや文字の大きさ、勢いや形体等申し分のない練度の高い作品。日頃の修錬の程を物語る。特に横画の右肩上がりの角度には感服です。

佐藤裕子　準三　どの点画もおろそかにせず真摯に取り組んでおり好感を持つ。特に収筆の末端まで神経が行き届いており見事。「致」の横画の右肩の上がり過ぎは要注意。

菊地祥雪　五段　達者で心意気に溢れた筆致は紙面を明るく溌剌としたものにしている。大字の白を内蔵した広がり、小書きの運腕の大きさが見事で印象的。

甲斐久美子　二級　清澄として屈託のない筆運びは妙麗な美しさを表出している。小書きも良く纏まり、落款と合わせ明るく暢びやか。今後の益益の活躍が期待される作。